

中央公民館主催「サマースクール」活動報告

□報告者/ 教育学科 2年:伊藤 あおい, 伊藤 陽菜, 今井 小晴

教育学科 4年:橋本 尚明, 引野 結子

グローバルコミュニケーション学科 3年:大畑 陽歌里

グローバルコミュニケーション学科 4年:平田 翔也

心理学科 4年:津田 優帆

〈事業名〉サマースクール「カップケーキを作ろう！」

■日時: 8月2日(日) 14:00~16:30

■内容: カップケーキ作り/ダンス/なぞなぞクイズ

■参加者: 20名(当日の欠席を除く)



本イベントは、有志学生がイベント内容企画から事前準備、当日のイベント運営まですべてを行っています。

今回は定員を超える多くの小学生さんから申し込みをいただき、一生懸命に生地を混ぜたり、工夫してデコレーションをしたり、学生と一緒にダンスを楽しんでいる様子なども見ることができました。

イベント冒頭での動画を活用した自己紹介やイベント時間の拡大など、過去の反省などから今回初めて取り入れた試みもありましたが、メンバー全員で事前準備もしっかりと行い無事にイベントを終えることができました。

子ども達にとって夏休みの思い出に残る1日になったのではないかと思います。また、学生にとってもイベントの企画から実施までのすべての工程に携わる機会は貴重であり、学びが多い一日になりました。

当日参加してくれた小学生からは、「頑張って作ったカップケーキはおいしかった」「先生(学生)もとてもやさしかった」「色々な人としゃべれて、カップケーキを作るのも楽しかった」などの感想をいただきました。

広島文教大学では、学科ごとの学習だけではなく課外学習にも積極的に取り組んでおり、教室の枠を超えた「社会に生きる学び」を得られます。



▲学生が自己紹介をしている様子



▲子ども達と一緒にダンスを練習している様子



▲子どもと一緒にデコレーションをしている様子



▲完成したカップケーキ

〈学生感想〉

- ・今回のサマースクールに参加して、子供達を相手にすることがどんなに難しいことなのかを身を持って経験することができました。教えるより教わる側であることが多いので、今回のイベントを通して自分自身もレベルアップしたと感じています。
- ・今回2回目の参加でした。前回同様すべての活動を小学生主体に考え、進めることが出来ました。それぞれの活動で、怪我無く終えることが出来るのかななどを考えることは簡単ではありませんでしたが、メンバーで協力して準備を進めることができて良かったです。当日は保護者の方も一緒に活動の様子を観覧され少し緊張しましたが、最後には「来年も開催してもらえると嬉しい」という言葉をいただき、参加してよかったと思いました。
- ・今回サマースクールに参加し、児童との関わり方やどんなことをしたら子供たちは楽しんでくれるかなど改めて考えることができ将来に繋がる良い機会となりました。カップケーキを作る際、「早く食べたい」と言う児童にどのような声かけをしたらいいか悩むなど初めてのことが多く困ったこともありましたがその場で考え児童に伝えた経験も今後のボランティア、実習等での参考につながりこのサマースクールに参加してとても良かったと思いました。
- ・今回、このようなボランティアに初めて参加させていただきました。子どもたちが積極的に活動に参加してくれたお陰もあり、とても楽しく活動ができ、子どもたちの反応は大変やりがいを感じさせてくれるということを体験できました。今回の活動で得たことは今後の教育実習や、学校での学びに活かすことができると感じ、今後もボランティア活動等を行いたいと思いました。
- ・事前準備で小学生の喜ぶ顔を想像しながらポスターを作ったり試作をしたりできたのが楽しかった。また、前回の反省点をどう活かすかなど考えながら準備できて良かった。
- ・今回初めて小学生と関わるイベントに参加しました。参加する前は、どのように子どもたちと関われば良いか不安もありましたが、実際にカップケーキと一緒に作ってみると、話しながら楽しく活動することができました。デコレーションする時は、一緒に動物の顔を作ったりしました。子どもたちが楽しそうに作っている姿を見ることができ、とても嬉しかったです！
- ・子ども達と出会った最初は全然お話ができない子どももいましたが、最終的には会話に参加することができていて安心しました。初対面の相手でも話することができるのが子ども達のいいところだと感じました。次の活動も出来れば参加したいと感じました。
- ・5回目の参加となった今回、自己紹介の仕方や当日のメンバーの募集など、これまでの反省を生かすとともに新たな試みを行った回となりました。また、新たに2年生の学生も参加してくれ、今後のイベント実施にもつながる、そして学生自身の学びや今後の学内外での学び・活動にも生きる貴重な機会になったと思っています。参加してくれる子ども達に素敵な思い出を持って帰ってもらうことはもちろん、参加する学生にとっても学びあるイベントにするために、今回出た反省も活かしながら次回に活かしていきたいと思っています。